

音楽の勉強のため、15歳で本道を離れ進学し、ヴァイオリニストとして在学中より国際的なコンクールで多くの入賞を果たした。また、フィンランドの作曲家「シベリウス」の研究者として高い評価を受けており、現在は日本シベリウス協会の理事を務めている。さらに、その知識と技術を活かし、出身地である旭川市にて10年以上も後進の指導を行うなど、本道の音楽文化の振興に大きく寄与しており、今後も活躍が大いに期待されている。

◎ 受賞者の主な略歴

- H 4 プラハの春国際音楽コンクールヴァイオリン部門 特別賞
- H 5 ヴァクラフ・フムル国際ヴァイオリンコンクール 第2位(最高位)
- H 6 ロドルフォ・リピッツァ国際ヴァイオリンコンクール 第4位(1位なし)
- H 7 シベリウス国際ヴァイオリンコンクール 第3位
- H12 日本シベリウス協会理事(～現在)
- H15 フィンランドSibelius i Korpo音楽祭にて、多くの世界初演を実施(～現在)
上野学園大学音楽学部非常勤講師(～H19)
- H17 東京藝術大学音楽研究科大学院博士後期課程修了(博士号を取得)
- H19 上野学園大学音楽・文化学部専任講師(～現在)
シベリウス没後50年の記念として、ピアノトリオの英国初演(ロンドン)、日本シベリウス協会主催「シベリウスの真実」のプロデュース及び日本初演、世界初演を実施
- H20 上野学園スカラシップシリーズとして、リサイタルとマスタークラスを旭川と札幌で実施(～H22)
- H22 韓国テグ国際現代音楽祭、ハッポマン国際現代音楽祭に出演(～現在)
- H24 ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会(全4回)
(道内の音楽祭や演奏会、学校の音楽教室への出演のほか、後進の指導を実施)

シベリウス全集vol.1「子守唄」、vol.2「ノヴェレット」(ALM)、シベリウス全集第6巻(BIS)等をリリース
シベリウス国際会議[アメリカ(H17)、イギリス(H22)]で初演を実施

